

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）分離株数

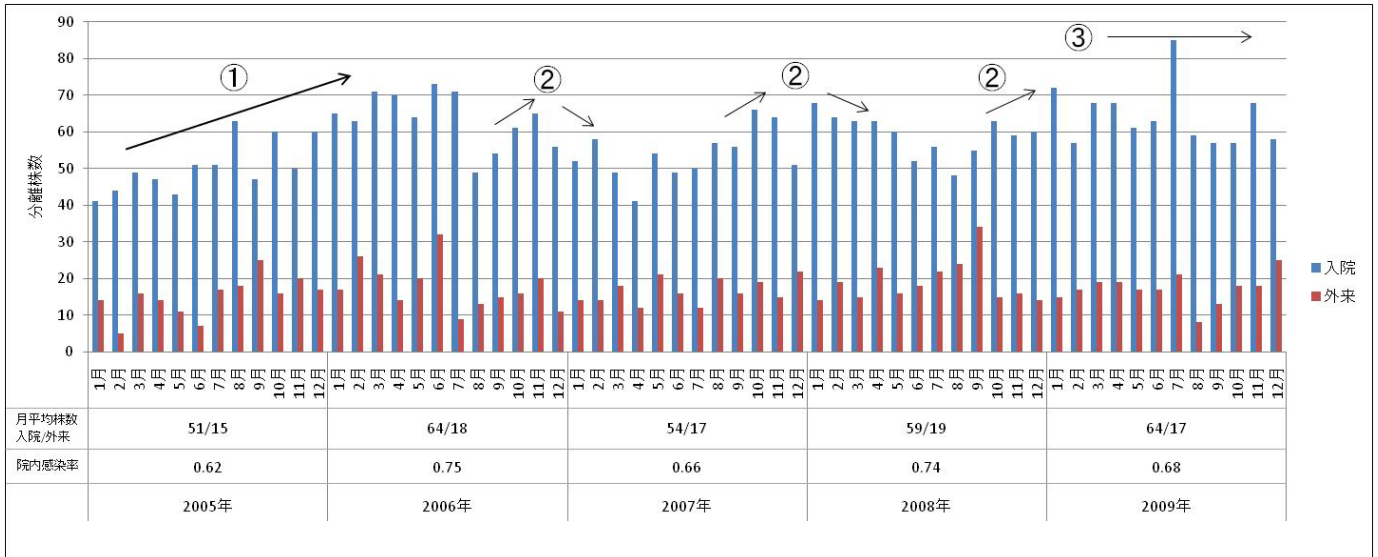


図. MRSA 月別分離株数（2005年－2009年）

図は 2005 年から 2009 年における当検査室の MRSA 月別分離株数（青：入院、赤：外来）です。

〈特 徴〉

- ①2005 年 1 月から 2006 年 6 月にかけて入院患者の分離株数が増加する傾向を認めました。
- ②2006 年から 2008 年の 3 年間は、秋から冬にかけて入院患者の分離株数が増加する傾向が認められ、月別平均分離株数は 54～64 株で推移しました。一方、外来患者の分離株数は季節による変動は無く、月別平均分離株数は 17～19 株で推移しました。
- ③2009 年の入院患者の月別分離株数は 2008 年に比し僅かに増加しました。特に 7 月の入院患者の分離株数は 85 株と過去 5 年間に於いて最も多くなりましたが、増加の原因は不明です。しかし、その後は抗菌薬の適正使用や標準予防策および接触感染予防策の徹底により分離株数は減少しています。

* 当院における各年度の MRSA 院内感染率^aは 0.8 以下であり、国立大学病院の中でも極めて低い感染率です。

a:院内感染率：入院後 48 時間以降に MRSA 感染が確認された患者数 / 総入院患者数×100